



福井市自然史博物館

# 博物館だより

FUKUI CITY MUSEUM OF NATURAL HISTORY NEWSLETTER



樹液をなめるカブトムシ (2021年6月28日 足羽山 撮影:学芸員 梅村信哉)

## 福井の自然史情報

### 樹液に集まる昆虫

カブトムシやクワガタムシの成虫はクヌギやコナラ、アベマキの樹液が大好物です。足羽山でも6月下旬頃からコナラやアベマキの樹液にカブトムシが集まり始めます。甘酸っぱいにおい、昼間に樹液に集まるチョウやカナブンの姿をたよりに樹液の出ている木を見つけて、夜間に見に行ってみましょう。樹液を舐めるカブトムシの姿や、運が良ければカブトムシやクワガタムシのケンカのシーンを観察できるかもしれませんよ。



当館マスコットキャラクター  
「シジュウオ」

中面に関連記事があります。

福井市自然史博物館 2021年度夏季企画展

# カブクワ大行進!

—世界の、福井のカブトムシ・クワガタムシ—

2021.7.17(土) ~ 10.24(日)

子どもたちに大人気の昆虫、カブトムシやクワガタムシ。世界には約1,600種のカブトムシと約1,500種のクワガタムシが生息していると言われており、その姿もかっこいい角や大あごを持つものから美しい金属光沢をもつものまで様々です。

この夏、自然史博物館には世界の、福井のカブトムシやクワガタムシが大集合!

ヘラクレスオオカブト、ギラファノコギリクワガタなどの巨大な種類、ニジイロクワガタのような美しい種類はもちろんのこと、丸っこくてかわいらしい姿をしたマルガタクワガタなど珍しいカブトムシやクワガタムシの標本も展示します。さらに、ヘラクレスオオカブトなど人気のある種類は生体も展示します。この夏、多彩なカブトムシやクワガタムシの世界をお楽しみください。

## 展示内容

### ① 世界のカブトムシ・クワガタムシ

世界のカブトムシやクワガタムシ200種、500個体以上の標本を一堂に展示します。

オオシカクワガタ、マンディブラリスフタマタクワガタなどかっこいいクワガタムシの標本も展示します。お気に入りのカブトムシやクワガタムシは見つかるかな?



▲オオシカクワガタ



▲マンディブラリスフタマタクワガタ

### ② 福井県のカブトムシ・クワガタムシ

福井県には2種のカブトムシと16種のクワガタムシが生息しています。今回の展示では、福井県に生息する全種のカブトムシやクワガタムシの標本を展示します。青く輝く体を持つクワガタムシなど、福井にも多彩な姿のクワガタムシがいますよ。



▲トウカイコリクワガタ

### ③ あっと驚くカブトムシ・クワガタムシ

半分がオスの体、半分がメスの体を持った非常に珍しいヘラクレスオオカブト、ニジイロクワガタ(雌雄型)の標本を展示します。そのほか、奇形のカブトムシやクワガタムシの標本も展示します。ヘラクレスオオカブト雌雄型▶



### ④ 憧れのヘラクレスオオカブトに大接近!

生きたヘラクレスオオカブトを間近に観察できるコーナー「ヘラクレスの館」を設置します。もしかしたら、



▲ヘラクレスオオカブト当館でヘラクレスオオカブトを間近に観察できるのはこれがラストチャンスかも?

展示パンフレットも販売!

(A4サイズ 15頁 価格:300円)

今回の展示開催に併せて、フルカラーのパンフレットを発行しました。福井県に生息する全2種のカブトムシと16種のクワガタムシについて、標本写真と生態写真をふんだんに使って特徴、県内での生息情報などについて紹介しています。





学芸員がやって来る!

# 出前講座



当館では、学芸員を中心に職員が学校や公民館などに赴く「出前講座」を実施しています。最近の5年間では平均して年41回の出前を行いました。内容は主に動植物や地層の観察会、星空の観望会、自然史に関する講義で、大人から子どもまで、数名から多い時で数十名程度を対象としています。具体的には、公民館近くの田んぼでハクチョウの観察を行ったり、校区内の山や川、田んぼで昆虫や魚、カエルなどを

採集・観察したり、公民館で土星や月の観望会を行うなどしています。生態学や天文学、キャリア教育などの分野で大学に講義をしに行くこともあります。博物館行事に追加で講座を行うので大変な面もありますが、自然にあまり関心のない方、関心があっても遠方のため博物館になかなか来られない方が、出前講座なら気軽に参加できるというメリットもあります。そういった方々の反応は新鮮で、講座を進めていく上でとても勉強になります。また、身近な場所で見られる動植物や地質、星空を知るとは、自分の住んでいる地域やその自然に親しみ、愛着を持つ、とても良いきっかけとなります。出前講座がそんなきっかけ作りに一役買っていただければ嬉しい限りです。

(学芸員 出口)



▲公民館近くの田んぼでハクチョウの観察会 (写真提供：清水東公民館)



▲一乗公民館での天体観望会事前レクチャー



▲小学校裏の山で昆虫採集・観察会 (写真提供：本郷小学校)

## 出張プラネタリウム どこでもプラネタリウムが楽しめる!?

遠くのプラネタリウムへ行かなくても「星空を学びたい!」「プラネタリウムを楽しみたい!」そんな要望に応えるため、2020年度から本格的に移動式プラネタリウムの活動を開始しました。

この移動式プラネタリウムは、2019年に福井新聞社の創刊120周年に向けて実施された、宇宙分野をはじめとする人材育成を目指す「ゆめ・つくる・ふくい」プロジェクトの1つとして、2019年2月に県内大学生と福井高専生、高校生、福井新聞社の記者が「どこでもプラネタリウムプロジェクト」(アストロアーツ、清川メッキ工業、鯖江精機、ナカテック、富士通福井支店特別協力)として完成させました。

その後、県内の病院や図書館、盲学校などで活動し、



▲映像は魚眼レンズを付けたプロジェクターで、デジタルプラネタリウムを映し出す



▲プラネタリウムのドームは大型の扇風機を使って膨らませる方式 (直径5m、高さ3.5m)

現在は主に福井市内の公民館向けプログラムとして当館のボランティアスタッフの協力を得ながら活動しています。どこでもプラネタリウムの活動をとおり、多くの方に星空の魅力を伝え、楽しんでいただき、星空・宇宙の不思議を感じていただける機会となるように奮闘しています。

(どこでもプラネタリウム担当 加藤・金剛)





# 人気の野鳥は？

マグネット配って調べてみました！



博物館では令和3年春季企画展「足羽三山トリペディア」（期間：2021年3月20日～5月30日）の際に、足羽三山で見られる野鳥42種の写真をマグネットにして、キッズクイズの景品として子どもたちに配布しました。どれを選ぶかは子どもたちの自由、果たしてどの野鳥に人気が集まるのか、職員の皆さんに協力してもらい集計を取ってみました。

結果、1位が同数のNo. 14ベニマシコ、No.15オオルリ、No. 23スズメ（50個）で、赤や青など色鮮やかな鳥が人気でした。予想外だったのはスズメで、地味ながら知名度が高く、身近に見られる鳥なため1位にランクインしました。この傾向はNo. 36ツバメ（36個で6位）にも見られました。

残念ながら最も選ばれなかったのはNo. 2カワラヒワ、No. 24シロハラ、No. 33ジョウビタキ、No. 42ヒガラの4種でした（いずれも1個）。どの鳥も色の美しさや可愛さはあるように感じるのですが、写真がイマイチだったのでしょうか。そのほか、鳥の体のサイズも人気に影響しそうな気がします（今回は全ての鳥が同縮尺）。この結果は、今後の観察会やグッズの作製に活かせるのではな

いかと思っています。今回は、実験的な試みでしたが、今度は写真の条件を統一するなどして、しっかりと調べてみたいと思います。（学芸員 出口）

## 配布した野鳥マグネット



この4月、福井市自然史博物館長に就任しました谷本です。当館は、施設や設備の老朽化こそ著しいものの、知識と経験豊富な学芸員が揃った、緑あふれる豊かな自然を感じられる足羽山に位置する唯一無二の博物館です。

来年は、開館70周年という節目の年を迎えます。これからも時代のニーズに即しながら、「集い」、「学び」、そして「(環境を) 守る」博物館を目指し、職員一丸となって努めてまいります。

館長

谷本 修  
Osamu Tanimoto



新館長  
あいさつ

### 【あとがき】

今号では、大人気のカブトムシやクワガタムシの夏季企画展をはじめとする話題を取り上げました。私の専門は鳥類ですが、大人になっても樹液に集まるカブトムシたちを見ると、つい興奮してしまいます。それほど子どもの時に追っかけたカブトムシたちの印象は強烈なものだったので。企画展では世界の福井のカブトムシやクワガタムシの標本が一堂に集まり、子どものみならず、昔カブトムシを追っかけた大人の皆さんも大興奮間違いなしの展示になっています。

また、当館の出前講座の取組みについても紹介しました。企画展などと併せて、一人でも多くの方に自然について関心を持ってもらえるように、今後も地道に頑張っていきたいと思えます。（出口）

### 【交通案内】

#### 【電車】

- JR 福井駅から徒歩30分
- 福井鉄道福武線 足羽山公園駅・商工会議所前駅 各徒歩20分

#### 【バス】

- 京福バス：清水グリーンライン(74系統) 足羽山公園下バス停（あじさいの道登る）不動山口バス停（蔵鳥神社登る）各徒歩10分
- コミュニティバスすまいる：西ルート（足羽・照手方面）愛宕坂バス停 徒歩10分

### 【ご利用案内】

- 開館時間 ● 午前9時～午後5時15分（入館は午後4時45分まで）  
休館日 ● 月曜日（祝日は開館）、祝日の翌平日、年末年始  
入館料 ● 高校生以上100円（20名以上の団体は半額）  
中学生以下、70歳以上、障がい者および付添の方は無料

